

これからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくり ～アフターコロナに向けて考える～

2022年2月2日(水) 13:30～16:30 zoomオンライン

今年度のセミナーは「地域発の国際協力」に着目し、コロナ禍以前から行われている優れたプロジェクトを取り上げます。コロナ禍で活動を継続するための工夫も紹介いただきながら、地域発の国際協力の意義と、それが地域にもたらす波及効果も踏まえ、これからも国際協力や海外とのつながりを活かした活動に地域で取り組むことの重要性や、地域の活性化や多文化共生の推進につながるなど「地域づくり」という観点における意味合いについて考えます。

13:30	開会挨拶 (一財)自治体国際化協会(CLAIR)
13:40	導入講義 「これからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくり」 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシーヘッド 堀江 由美子 氏
13:55	● 事例紹介1 「国際協力の先に見据える経済面での繋がり ～北海道滝川発、モンゴルのアグリビジネス振興プロジェクト」 一般社団法人滝川国際交流協会 参与 阿部 孝志 氏 プログラムコーディネーター ナンザド ガンチメグ 氏
14:20	● 事例紹介2 「長野県佐久市とタイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア包括プロジェクト」 学校法人佐久学園佐久大学社会連携・研究支援センター客員教授 東田 吉子 氏 客員講師(元佐久市福祉部長) 坂戸 千代子 氏
14:45	休憩
14:50	● 事例紹介3 「カンボジアにおけるスポーツを通じた開発 ～岡山からの草の根支援と交流」 認定特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド 事務局次長 井上 恭子 氏
15:15	休憩
15:30	● パネルディスカッション及びQ&Aセッション モデレーター 堀江 由美子 氏 パネリスト 阿部 孝志 氏、ナンザド ガンチメグ 氏、 東田 吉子 氏、坂戸 千代子 氏、井上 恭子 氏
16:30	閉会

募集人員:100名(先着順) 申込締切日:1月31日

対象:自治体職員、地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者、
その他関心のある方(企業、学生、一般市民)

●申込みフォームが使えない場合はメールでお申し込みください
Email: international_cooperation@plaza-clair.jp

- ①件名【2/2 セミナー申込】 ②お名前(ふりがな)
③ご所属 ④ご連絡先(電話、E-mail) ⑤セミナーを知ったきっかけ

申込フォーム

<https://bit.ly/3IIQSdN>

申し込みフォーム
QRコード



■ 主催:(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

■ 後援:滝川市、佐久市、岡山市、JICA東京

●これからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくり～「アフターコロナ」に向けて考える～●

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、グローバルな視点に立ちながら課題解決に取り組むことが一層望まれています。本セミナーでは地域発の国際協力として支援国と地域、双方向に好影響を与えている事例から、地域発の国際協力の重要性や意義、地域にもたらすインパクトを学び、今後もこうした取り組み推進の必要性、重要性を考える機会とします。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの堀江氏による導入講義の後、①CLAIRの制度やJICAのスキームも活用しながらモンゴルとの相互交流を深め、モンゴルへの農業技術支援の結果、モンゴルへの貢献のみならず農業分野に限らない地元の産業振興にもつながっている北海道の滝川国際交流協会の取り組み、②健康長寿の町、長野県佐久市が誇る優れた地域包括ケアの仕組みを活用したタイ・チョンブリ県サンスク町の高齢者介護の人材育成支援と、同プロジェクトを通じて今後両市町の中小企業の発展を模索する取り組み、③カンボジアの初等教育から大学までの体育科教育などスポーツを中心としたハート・オブ・ゴールドのカンボジアの開発支援や、地元岡山市と連携した国際協力、岡山の子どもたちへのESD(持続可能な開発のための教育)取り組みを紹介します。

登壇者プロフィール

(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシーヘッド **堀江 由美子氏**

大学卒業後、通信社に勤務し、英国の大学院で農村開発修士課程修了。NGOの駐在員としてカンボジアの農村開発事業に従事し、2002年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン入局。海外事業部、法人連携部を経て、2010年よりアドボカシーを担当。子どもの権利実現の観点から日本のODA政策やSDGs、G7などのグローバル・プロセスへの政策提言に関わる。



(一社)滝川国際交流協会 参与 **阿部 孝志氏**

2020年4月から現職。現在はコロナ禍でも持続可能な国際交流・国際支援に取り組む、ハイブリット型やハイフレックス型の交流活動を模索中。JICA草の根パートナー型では、日本国内での調整役を担当している。(本来は組織育成・運営担当)前職は公立高校に勤務し、学生の国際交流等に関わってきた。



(一社)滝川国際交流協会 プログラムコーディネーター **ナンザド ガンチメグ氏**

2011年7月、(一財)自治体国際化協会/CLAIRのJETプログラムにより滝川市初のモンゴル国出身国際交流員として着任。5年の任期満了後、滝川国際交流協会でも主にモンゴル国での農業研修の企画運営を担当し、滝川市で農業研修に携わり10年を迎えた。現在は同国を対象としたJICA草の根技術協力事業を国際交流協会受託・実施している。



(学)佐久学園佐久大学 社会連携・研究支援センター客員教授 **東田 吉子氏**

(公財)国際看護交流協会でも22年間JICA事業等の研修事業、調査、国際会議等を担当。その後、日本赤十字国際人道研究センターを得て2014年より佐久大学で勤務、草の根技術協力事業、プロジェクトマネージャー、看護学科では「国際看護論演習」等を担当し、学生の演習をタイで実施している。



(学)佐久学園佐久大学 社会連携・研究支援センター客員講師 **坂戸 千代子氏**

2016年に開始したJICA草の根技術協力事業(タイ)第一フェーズでは、佐久市役所福祉部長としてサブ・プロジェクト・マネージャーを務めた。第二フェーズでは、プロジェクト・アドバイザーとして参画。現在、佐久大学客員講師として地域行政を指導。地域では、タイ及び日本の課題である「認知症ケア」を促進している。



認定特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド 事務局次長 **井上 恭子氏**

大学卒業後、ソフトウェア開発会社に勤務。NGOでITボランティアとして活動。2004年にハート・オブ・ゴールド入職。アンコールワット国際ハーフマラソン、カンボジア小学校運動会等の事業を経て、現在は、JICA草の根パートナー、外務省NGO連携無償資金協力による体育事業の国内担当のほか、各事業に関わる。



お問合せ (一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ 担当 泉水(せんすい)、ホバート
〒102-0083東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル6F 電話:03-5213-1734

Email: international_cooperation@plaza-clair.jp

<http://www.plaza-clair.jp/>

市民国際プラザ

検索